

利用者・関係者の声

66歳男性 頸椎損傷 要介護5 家族

主人は四肢麻痺の体になって4年になります。退院する際に看護師さんに教わったつもりですが、1週間位の時に尿道カテーテルが詰まり私達はパニック状態になってしまいました。でも訪問看護は24時間対応なので電話ですぐ駆けつけてくれ処置をしてくださいました。それから14年間週3回位と緊急時に本人は元より家族の不安などを相談し、的確なアドバイスと対応を受けて安心に在宅介護を続けてこられたと思います。

また、かかりつけ医との連携も整っている為更に安心しました。今日も「こんにちは、体調どうですか？」の声に主人の顔はほころびます。

13歳 先天性疾患 家族

子供が産まれた時、医師から「重い障がいがあるのでいつ急変するかわからない」と言われ、在宅に切り替えてから不安な日を送っていました。そこに「小児の重症児を経験したことのある看護師さんがいるよ」という話を聞き、訪問看護ステーションに電話してみた所、快く受けて下さいました。

親は素人なので医療の事を色々教えて頂きまして心強い味方が出来たようで安心して介護することができています。細かい所まで気付いてくれ本当に助かっています。また、夜間の急な対応にも嫌な顔せず対応して頂けるのも嬉しいです。これからもずっと利用したいと思います。

80歳女性 高血圧 要支援2

一人暮らしで不安だったので施設に入ろうかと悩んでいた時にケアマネージャーさんから訪問看護を紹介されました。看護師さんが来てくれるようになってから気分も良くなり楽しみながら体操もできています。

70歳 パーキンソン病 要介護5 家族

妻が10数年前からパーキンソン病を患い夫の私が在宅介護をしています。最近、特に不安を感じることは少しの環境変化でも著しく体調を崩すことが多くなってきた事です。私の家へ週3回訪問看護師さんに来て頂いています。医療に詳しい看護師さんにその都度相談すると親身になって適切なアドバイスが頂けるので、それだけでも凄く安心できるのでとても感謝しています。

50代男性 筋萎縮性側索硬化症 要介護5

発病してから人と顔を合わすのが嫌になりほとんど家に閉じこもり状態で外出する機会も無くなり年が経ちました。その間、何回か主治医とケアマネージャーから「訪問看護」を利用しないかと勧められましたが、正直、病気が良くなる訳でもないのに他人を家に上げる事に抵抗があり断っていました。昨年急に体調を崩してから定期的に訪問してもらい事になりました。この度、パソコン(意志伝達装置)導入の助言をして頂き、パソコンを少し操作できるようになってから毎日が充実しています。それと少しだけ前向きに外出する事を考えるようになりました。支援活動、情報提供、相談にその他疑問に思っている事を親身にお答え頂き、心のケアまでしてもらい感謝しています。

訪問診療を行う医療機関 医師

在宅医療で出来る事は緩和ケア、チューブ栄養、点滴治療、褥瘡の処置、看取り、介護の方法の指導などです。自宅で生活したい人の希望を出来る限り可能にします。また、現在入院または通院中の病院との関係は維持できます。

83歳男性 ペースメーカー使用 要介護2

地球の引力により、生体の生理機能のメカニズムに人体は保持されている。病院は罹患者にとっては生きていく上においての関所でもある。一人の患者に対する診察も時間的に限界がある。その為に悩みやストレスの解消には至らぬもので、ここで頼りとするのは、看護師として現場経験を積んだ、看護師・ケアマネージャーである事にほかならない。診察を兼ね、メンタルケア(心のケア)ともなるトークカウンセリングコミュニケーション(私どもの心を開く介護要員はなくてはならない存在です。呼吸(生き)ある限り、これからお世話になります。1週間に2度の来所訪問は癒される喜びに満ちています。(意の感ずる儘)

訪問診療を行う医療機関 医師

北見市内の様々な理由で通院困難な患者様を各訪問看護ステーションスタッフと連携して診させて頂いておりますが、どの訪問看護ステーションも親身になり24時間対応してくれます。訪問看護なくして在宅医療は成り立ちません。在宅での療養を御希望される患者様やそのご家族の方は、一度各訪問看護ステーションに御相談してみたいはいかがでしょうか？

特に在宅での療養に不安を感じている患者様や、介護に疲れている御家族の方には是非相談して頂きたいと思っております。

60歳男性 癌 家族

病院でがんと診断され、約3ヶ月入院しましたが治療方法も無くなり自宅に戻ってきました。食事水分も摂れず24時間の点滴、動かなくなった足のリハビリと本人も家族も大変でしたが、訪問看護師さんに的確にアドバイスや温かい言葉を頂き、本当に心強く何度も助けられました。

自宅で家族と迎えた最期はとても穏やかで家族一同感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

訪問看護のご利用について

〔北海道北見保健所版〕

このパンフレットは「家で介護を受けながら生活したい」、「自宅で介護をするのが不安なので訪問看護を利用してみたい」と、考えられている患者様やご家族の方にむけて作成しました。住民の皆様には訪問看護が必要な時に参考にされますようお願い致します。

《ご利用いただける方》

- 病気や障がいのある方
- 子どもから高齢者まで介護が必要な方
- かかりつけ医が訪問看護を必要と認めた方 など

《訪問看護の内容》

病状チェック・健康相談

血圧・体温・脈拍などの測定、病状の観察、健康の相談 など

リハビリテーション

自宅でもできる運動・体操の指導、嚥下機能の訓練 など

ターミナルケア

自宅で最期を過ごしたい方のための看護

その他

認知症の方への看護、介護予防

緊急時のご家族の方の相談などを24時間体制で対応している場合もあります。

日常生活の看護

身体の清拭、入浴介助

床ずれ予防のケア、食事や排泄のケア

寝たきりの方へのケア、車いすへの移乗のお世話 など

医師の指示による医療処置

点滴、経管栄養、インスリン注射

人工呼吸器や在宅酸素等の器械・器材管理

留置カテーテルやドレーンチューブの交換・管理

床ずれ等の処置、薬の相談、服薬指導 など

看護の連携

病院・役所などとの連携、各種サービスの説明 など

(注意) 実施できる看護内容は事業所によって異なるものもありますのでご利用前にお確かめください。

発行：北海道オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室(北見保健所)
〒090-8518 北見市青葉町6-6 (電話)0157-24-4171 (FAX)0157-24-4199